

褥瘡対策に関するスクリーニング・ケア計画書

氏名 明・大・昭・平 年 月 日生 (歳) 評価日 令和 年 月 日 計画作成日 令和 年 月 日
 殿 男 女 記入担当者名

褥瘡の有無

1. 現在 なし あり (仙骨部、坐骨部、尾骨部、腸骨部、大転子部、踵部、その他 ()) 褥瘡発生日 令和 年 月 日
 2. 過去 なし あり (仙骨部、坐骨部、尾骨部、腸骨部、大転子部、踵部、その他 ())

| 危険因子の評価 | 障害高齢者の日常生活自立度 | | J (1, 2) | A(1, 2) | B(1, 2) | C(1, 2) | 対処 「自分で行っていない」、 「あり」に1つ以上該当する 場合、褥瘡ケア計画を立案し 実施する。 | |
|-------------------|---------------|----------|----------|----------|-----------|----------|---|--|
| | ADL の状況 | 入浴 | | 自分で行っている | 自分で行っていない | | | |
| | | 食事摂取 | | 自分で行っている | 自分で行っていない | 対象外 (※1) | | |
| | | 更衣 | 上衣 | 自分で行っている | 自分で行っていない | | | |
| | | | 下衣 | 自分で行っている | 自分で行っていない | | | |
| | 基本動作 | 寝返り | | 自分で行っている | 自分で行っていない | | | |
| | | 座位の保持 | | 自分で行っている | 自分で行っていない | | | |
| | | 座位での乗り移り | | 自分で行っている | 自分で行っていない | | | |
| | | 立位の保持 | | 自分で行っている | 自分で行っていない | | | |
| | 排せつの状況 | 尿失禁 | | なし | あり | 対象外 (※2) | | |
| 便失禁 | | | なし | あり | 対象外 (※3) | | | |
| バルーンカテーテルの使用 | | | なし | あり | | | | |
| 過去3か月以内に褥瘡の既往があるか | | なし | あり | | | | | |

※1：経管栄養・経静脈栄養等の場合

※2：バルーンカテーテル等を使用もしくは自己導尿等の場合

※3：人工肛門等の場合

| | | | |
|----------|-------|---|--|
| 褥瘡の状態の評価 | 深さ | d 0：皮膚損傷・発赤なし d 1：持続する発赤 d 2：真皮までの損傷 | D 3：皮下組織までの損傷 D 4：皮下組織を越える損傷 D 5：関節腔、体腔に至る損傷 DDTI：深部損傷褥瘡 (DTI) 疑い D U：壊死組織で覆われ深さの判定が不能 |
| | 浸出液 | e 0：なし e 1：少量：毎日のドレッシング交換を要しない e 3：中等量：1日1回のドレッシング交換を要する | E 6：多量：1日2回以上のドレッシング交換を要する |
| | 大きさ | s 0：皮膚損傷なし s 3：4未満 s 6：4以上 16未満 s 8：16以上 36未満 s 9：36以上 64未満 s 12：64以上 100未満 | S 15：100以上 |
| | 炎症/感染 | i 0：局所の炎症徴候なし i 1：局所の炎症徴候あり (創周囲の発赤・腫脹・熱感・疼痛) | I 3C：臨床的定着疑い (創面にぬめりがあり、浸出液が多い。肉芽があれば、浮腫性で脆弱など) I 3：局所の明らかな感染徴候あり (炎症徴候、膿、悪臭など) I 9：全身的影響あり (発熱など) |
| | 肉芽組織 | g 0：創が治癒した場合、創の浅い場合、深部損傷褥瘡 (DTI) 疑いの場合 g 1：良性肉芽が創面の90%以上を占める g 3：良性肉芽が創面の50%以上90%未満を占める | G 4：良性肉芽が創面の10%以上50%未満を占める G 5：良性肉芽が創面の10%未満を占める G 6：良性肉芽が全く形成されていない |
| | 壊死組織 | n 0：壊死組織なし | N 3：柔らかい壊死組織あり N 6：硬く厚い密着した壊死組織あり |
| | ポケット | p 0：ポケットなし | P 6：4未満 P 9：4以上16未満 P 12：16以上36未満 P 24：36以上 |

※褥瘡の状態の評価については「改定 DESIGN-R®2020 コンセンサス・ドキュメント」(一般社団法人 日本褥瘡学会)を参照。

| 褥瘡ケア計画 | 留意する項目 | | 計画の内容 |
|--------|--|------|-------|
| | 関連職種が共同して取り組むべき事項 | | |
| | 評価を行う間隔 | | |
| | 圧迫、ズレカの排除 (体位変換、体圧分散 寝具、頭部挙上方法、 車椅子姿勢保持等) | ベッド上 | |
| | | イス上 | |
| | スキンケア | | |
| | 栄養状態改善 | | |
| | リハビリテーション | | |
| | その他 | | |

説明日 令和 年 月 日
 説明者氏名